

## Windows 7 対応についてのお知らせ

### - 過去のお知らせ

開発環境ソフトウェア製品の Windows 7 上での動作確認状況についてご連絡します。

---

### 動作確認の概要

#### 方針

---

Windows Vista 対応製品については、Windows 7 32 ビットおよび 64 ビット版に対応する予定です。  
Windows Vista に対応済みの以下の製品に関して、Windows 7 での動作確認を実施しました。

1. 統合開発環境および関連ユーティリティ
  - ・ 統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V. 4. 05 以降
  - ・ オートアップデートユーティリティ V. 1. 05 以降
  - ・ ドキュメントアップデータ V. 3. 01 以降
2. コーディングツール
  - ・ SuperH RISC engine ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ V. 9. 03 Release 00 以降
  - ・ H8SX, H8S, H8 ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ V. 7. 00 Release 00 以降
3. シミュレータデバugg
  - ・ SuperH RISC engine ファミリ用シミュレータデバugg V. 9. 08 以降
  - ・ H8SX, H8S, H8 ファミリ用シミュレータデバugg V. 5. 07 以降

#### 確認結果

---

既存の Windows Vista 対応製品を Windows 7 環境へインストールし、動作確認した結果、「問題と回避方法」に掲載した問題と「制限事項」に掲載した制限事項がありましたのでご注意ください。

なお、新たな制限事項があれば、別途お知らせします。

#### 今後の予定

---

Windows 7 対応版の正式リリースに関しては、準備ができ次第お知らせします。

---

### 問題と回避方法

#### ドキュメントアップデータ

---

##### 1. インストール

###### (1) 問題

管理者権限でもインストールすることができません。

###### (2) 回避方法

ドキュメントアップデータのインストーラ (DocumentUpdaterV30100.exe) のプロパティの互

換モードタブで“互換モードでこのプログラムを実行する”をチェックし、ドロップダウンリストで“Windows XP (Service Pack 2)”を選択してください。

## Install Manager (インストールマネージャ)

---

### 1. アクティブにする High-performance Embedded Workshop (HEW) への切り替え

#### (1) 問題

アクティブにする HEW への切り替え時に“Windows メニュー情報が不足していますので、アクティブ状態に移行することができません。”と表示される場合があります。

#### (2) 回避方法

このメッセージが表示された時には、再度アクティブにする HEW への切り替えを実施してください。再度実施することでアクティブな HEW を切り替えることができます。

### 2. Windows メニューに Renesas {xxxxx} が表示される

#### (1) 問題

Windows メニューに Renesas {xxxxx} (xxxxx は英数字文字列です) が表示されることがあります。これは、表示されないはずの非アクティブな HEW のメニューです。

#### (2) 回避方法

ログインをし直すか、再起動することでアクティブな Renesas メニューのみが表示されるようになります。

---

## 制限事項

### High-performance Embedded Workshop

---

#### 1. メモリ内容をモトローラ S フォーマットファイルとして保存

[デバッグ] - [メモリの保存...]メニューで、ファイルフォーマットに“S-Record”を指定してメモリ内容をファイルに保存した場合、S4 レコードがファイルに出力されることがあります。

### ドキュメントアップデータ

---

#### 1. ドキュメントアップデータでのファイルのドラッグ&ドロップ ドキュメントアップデータにファイルをドラッグ&ドロップしても登録できません。

---

## 64 ビット版 Windows 7 について

### 制限事項

---

#### 1. SuperH RISC engine ファミリ用の C/C++コンパイラパッケージ

##### (1) 問題

コンパイラパッケージを標準インストールした場合、標準ヘッダファイルの格納フォルダに括

弧記号“(または)”が含まれるため、これを include オプションに対して指定するとコンパイル時にエラーになります。

(2) 回避策

通常、標準ヘッダファイルの格納フォルダは環境変数 SHC\_INC で指定しますので、この場合は include オプションで指定する必要はありません。

標準ヘッダファイルの格納フォルダと同様に、括弧記号を含むフォルダをインクルードパスに指定したい場合は、環境変数に “;” (セミコロン) を付けて追加してください。

---

## Windows 7 版での留意事項

製品のインストールは管理者権限を必要とします。アップデートも同様です。

